

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙 <第 164号>

神奈川イグレンニュース

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）
 発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：宗和 正憲
 〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7F
 TEL 045-228-7331 FAX 045-228-7331 (TEL 兼用)
<http://www.kanagawa-iguren.com>

2016年7月号



【 今月のコンテンツ 】

- 神奈川イグレンご案内 1、2、3、4
- 「新事業・新技術支援フォーラム」 松井 利夫 4
- イグレン会員グループ・プロジェクト状況 5、6、7
- 産学官交流サロンコーナー／事務局コーナー 8

【 神奈川イグレンご案内 】

イグレン総会のご報告

6月21日（火）13：30より中小企業センター6階 大研修室にて第33回 神奈川県異業種連携協議会（イグレン）総会が行われ、議題が無事承認されましたことを皆様にご報告致します。

- 議 題 ： ① 平成 27 年度事業結果報告・同会計決算報告・同監査報告
 ② 平成 28 年度事業計画（案）・同会計予算（案）
 ③ 平成 28 年度役員（案）

【 記念講演 】 山勝電子工業株式会社 社長 金究 武正(イグレン議長)
 「4Kフィルムスキャナーの開発と当社の事業展開」

冒頭、イグレン議長の金究武正より開会の挨拶の後、公益財団法人神奈川産業振興センター（KIP）の常務理事、鈴木 信之 氏よりご挨拶を賜りました。その中で、中小企業のおかれている現状などについて状況をお話し頂きましたので少し紹介します。

「中小企業は全国に約 380 万社あり、その 99.7%が中小企業である。そのうち神奈川県内は約 20 万社。日本を支える中小企業が元気でなければならないが企業数が年々減ってきているのが現状である。そのような中、KIP では『よろず支援拠点』を各地に展開中。現在、企業の開業率は 5.6%であるがこれを H37 年までに 10%程度まで持っていきたいとの事。地方創生の国の施策に基づき企業の支援を行っていく必要がある。今までもそうであるがイグレンや KIP は様々な企業に大きな役割を果たしてきた。そんな中、企業も事業承継の在り方が変化してきている。20 年前は 90%が親族内承継であったが現在では 60%程度になっており、こうした承継問題についても多くの企業の相談に乗っている。事業承継において M&A をしたいという要望があってもある程度の規模がないと難しいのが現状で多くの中小企業においては活用できないのが現状である。現在、再生支援と高齢者の人材バンク化を進めている。」・・・(概要抜粋：イグレン広報 宗和)

神奈川県産業振興センターホームページ

<http://www.kipc.or.jp/>

<活動報告>

- ① 「学生は中小企業の広告をどう評価しているのか」の出版物制作
本書概要版を元に表題を「中小企業の会社広告に対する現代学生気質」として「中小商工業研究」誌に投稿して全国にPR。販売も行っている。
- ② 「明るいプラスチックの会」結成。「暗いプラスチック業界の、明るい未来を考える会」として17社が結集。通称を「明プラ会」とした。情報交換並びに相互受発注共同受注の展開を目指している。
- ③ 田んぼセンサーの開発部会（海老名プロジェクト）
- ④ 川崎市中小企業振興条例づくりへの参加
- ⑤ イグレン理論機関誌の発刊
- ⑥ 産業技術センター問題・・・神奈川県産業振興センターの独立行政法人化及び神奈川県科学技術アカデミー（KAST）との統合改革問題について。
- ⑦ TRIASによる中小企業センター地下室の「ことづくり交流点づくり」の状況について

その他：産学連携、新事業新技術支援フォーラム、新規グループ作り、国際連携、テクニカルショーへの不参加、野毛活性化支援プロジェクト・藤棚地域活性化プロジェクトなど。

<イグレン平成28年度事業計画案>

イグレンは平成26年に30周年を迎えました。今後の中小企業をとりまく日本経済の動向を考え以下の六つの柱を目標とし、展開してまいります。

1、交流・連携事業の充実・発展。



総会の様子

インキュベーション入居企業との交流。産業NAVI企業との交流・連携。TRIASとの連携など。新グループ設立に関する意見交換会。旧戸塚市役所後に建設された施設の利用方法について。映学社の教育などのフィルム作成事業との連携等。

- 2、交流・連携から起こった出版物販売・新製品開発・販路拡大等の事業化支援。
- 3、中小企業の理論・政策活動と広報活動の充実。
- 4、人材育成研修事業の展開。
- 5、会員増強。
- 6、財政基盤の強化。



記念講演として山勝電子工業株式会社 社長 金究 武正(イグレン議長)より
「4K フィルム・スキャナーの開発と当社の事業展開」についての話を伺いました。

イグレン広報 宗和

1973 年 27 歳の若さで独立をした金究社長は当時の苦勞を振り返る。首都圏の理工系の学校を卒業した後、実家のある新潟の南魚沼に戻ったがそもそも理工系の会社が地元には無かった。そこでプリント配線基板の設計事業を始める事になるのだが新規営業には大変苦勞されたようだ。なんでも都内の同業他者に負けられないようにする為、次の二つを徹底的に管理したという。

① 技術レベルの向上 (図面を絶対間違わない) ② 納期の管理体制の強化。
当時、通信手段として既に FAX はあったのだが性能が悪く電子回路を送れるような状態ではなかった。

それゆえ図面の間違いにより訂正が必要となれば郵送でやり取りをしなくてはならず、図面の間違い＝納期の遅れ＝信頼低下につながるため社員には図面の正確さを求めた。この徹底管理のおかげで技術レベルも上がると共に、他社に先駆けて導入した電子回路の CAD により JAXA (当時 NASDA) や防衛庁からの仕事も来るようになった。「回路設計の技術屋」を作ろうということで動いてきた事から LED や画像処理の仕事も手掛けるようになった。この時の画像処理の技術を応用し、4K フィルム・スキャナーを今回開発した。何十年も前のフィルムだと劣化していることも多く、35 ミリや 16 ミリのフィルムを従来の装置を使って読み取ろうとするとフィルム両端の穴の部分にピンをひっかけて送る際、破損してしまうことがある。そこで、フィルムにピンを引掛けない方法で 4K 画像に変換する世界初のシステムを実用化することに成功した。4K とはフルハイビジョンの 4 倍の画素数をいう。それゆえ細部にわたり画像も鮮明なのだ。フィルムの編集時、この事から新たな発見もあったという。広島原爆投下後のフィルムだと思っていた中に長崎の爆心地の様子が混ざっていたらしい。なんでも今まで読み取れなかった電柱の文字からその地が長崎であるという事が分かったという。どうやら撮影者は広島から長崎に移動し撮影したようだ。ちょうど昨年、ニュース 23 に取上げられた 4K 画像の様子 (広告) がありますので紹介しておきます。

http://tabetainjya.com/archives/cat_3/_news2386/

現在、記録映画のフィルムを保有している映画会社や地方自治体などから引き合いがあり今後は海外の需要に向けた動きを展開していくとのこと。古い記録を後世に残すにはフィルム耐用年数からみてあと数年位しかない。大企業にはない少数先鋭の技術屋集団。これが山勝電子工業株式会社の姿である。

<イグレン新グループ設立に関する次回会合のご案内>

イグレンが新しいグループづくりを行うという事で昨年の 10 月より説明会&意見交換会を行っています。企業経営者を始め行政に携わる方や県OB、会員の方などにご参加頂いており現在意見を集約中です。

イグレンニュースをお読み頂いている会員の方にとっては他業種との交流を深めるチャンスであり、ビジネス拡大につながる可能性もあります。また、第一線から離れておいでの方にとってもご自身の経験を多くの方に役立ててもらえるという貢献の場でもあります。今後、何度か討議を重ねた後、新グループを設立します。6 月 22 日 (水) に第 7 回目の会合を行いました。次回は下記の通りですので、奮ってご参加下さいませ。是非、皆様のご意見をお聞かせ下さい。

【日 時】 : 2016 年 9 月 14 日 (水) 18:30~20:30 まで (懇親会付)

相手のビジネスを応援するその
先にビジネスチャンスあり!!
自分達で新グループを立ち上げよう



< イグレン会員募集 >

イグレンでは引続き会員を募集しております。皆様の周りの方でビジネス拡大に興味がおありの方などおいでになりましたらイグレン事務局、宮川までお知らせくださいませ。

「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)のレポート

松井 利夫

第 43 回フォーラムは平成 28 年 7 月 5 日に開催。初めに、テーブルホーンズ(株)の森さんから「有機水耕栽培の事業化」について説明があった。初めに森さんから、現在、事業を川崎市多摩区の登戸で行っているが、今日は一緒に事業をして頂ける方を紹介願いたいとの要望がありました。

有機水耕栽培とは、「有機養液を活用した水耕栽培」のことで、土の中にいる微生物(硝化菌)を水の中に移植して有機養液で野菜を栽培します。この技術は、2005 年に農研機構野菜茶業研究所で開発されたもので、水耕栽培は 100 年程度の歴史があるが、有機養液を用いた水耕栽培は、まだ 10 年程度の歴史だそうです。

有機水耕栽培は、「環境にやさしく、人に安全」な栽培方法であり、根の病原菌に対して強く、EU で規制対象になっている硝酸イオンの残留も少なく EU 基準を大きく下回っている。課題としては、開発されてから 10 年と日が浅いため栽培技術が安定せず、微生物の生態系と施肥とのバランスをとる必要があるとのこと。家庭菜園市場では、「収穫の喜び」以外に「心の癒し」を提供することで、高齢者を中心に潜在的な需要があるそうです。事業化について検討したところ、野菜工場としての事業化は、多大な人、モノ、金が必要なため時期尚早であることから断念。家庭菜園としての事業化(趣味としての野菜作り)については、農業未経験者でも手軽に出来るなどの理由から、屋内の家庭菜園事業を最初に推進し、将来、野菜工場として事業化を行う考えとのこと。

有機水耕家庭菜園のビジネスモデルの運用については、ニーズに対応した栽培設備を考えている。現在、マンションのリビングルームを借りて有機水耕栽培を行っているが、作業スペースが 6 m²で三列の循環型設備を配置することが出来るので、月額 12,000 円の会費を取って 6 m²の作業エリアを使用できるようなことを考えているそうです。

次に、神奈川県プロ人材活用センター事務局長の福田さんから、内閣府の事業である「プロフェッショナル人材事業」について説明がありました。この事業は、東京都を除く全国 46 道府県に「プロフェッショナル人材戦略拠点」が置かれていて、地域の中堅・中小企業を支援しているとのこと。福田さんによると、当センターは、今年の 3 月からスタートしたばかりであり、企業からの人材要請があれば、提携している 29 社の人材紹介会社に、相応しい人を紹介して頂いて企業と面談するようにしている。成約すると、年収の 30~35%のフィーを企業が人材紹介会社に払うことになっている。現在までの採用実績は 5 名程度とのこと。企業の要望は様々ですが、海外に工場を進出するので良く分かっている人や専門の資格を持っている人を求めている場合が多いとのことでした。

【 イグレン会員グループ・プロジェクト状況 】

【第 174 回 日韓ビジネス協議会】

高橋 導徳

1. 日時：2016年7月27(水) 午後3時30分～5時15分 協議会 その後～6時15分交流会
2. 場所：神奈川中小企業センタービル 6階 特別研修室 かながわ異業種交流センター
(神奈川県異業種連携協議会) TEL：045-228-7331 会費 1,000 円
3. 会社紹介・・・◆ (有) ワールドクリーン代表取締役 古屋義秀氏
リフォームおよびメンテナンス・ECO推進事業・健康事業など (20分程度)
◆ 「水田管理システム」のプロジェクトに関して (株) ユニメーションシステム
代表取締役 伊藤幸彦氏 (20分程度)

<メイン講師>

(一般) 日韓産業技術協力財団 部長 初瀬川 茂氏

★タイトル：「第 26 回日韓中小企業商談会」の開催報告

要旨： 6月23日東京にて、日韓の中小企業による商談会を開催しました。その規模と参加企業の様子、および今回の商談の特徴などを報告されます。さらに、これまでの商談会運営実績を通じて日韓ビジネス交流の傾向などを分析して紹介されます。(45分程度)

異業種交流会シフト21 [【http://shift21.jimdo.com/】](http://shift21.jimdo.com/)

<2016年8月定例会>

有村 智里

■日時 2016年8月9日(火) 定例会 19:00～ 懇親会 20:30～22:00

■場所 かながわ県民センター 3階 303会議室

■プログラム

1. 講演 拡大続く中小企業の M&A
野村証券株式会社 法人開発部 次長兼ビジネス開発課長 石野 猛士様
・経営の選択肢として、中小企業で拡大傾向にある M&A
・現場から見た中小企業の M&A の最近の傾向、実務の流れや実施における留意点
2. 参加者全員の自己紹介タイム (1人1分間)

■参加費

定例会 / 初回参加の方 無料、2回目・3回目 1,000 円、4回目以降 4,000 円

懇親会 / 初回参加の方 1,000 円、2回目以降 実費 (3,000 円程度)

異業種交流会シフト21とは

シフト21は平成8年から活動している異業種交流会です。
多彩な経営者・起業家が集い、外部講師による講演や会員のプレゼンなどで
研鑽を図りながら、ビジネスに繋げる交流を図っています。
お問合せ・お申込みは事務局・有村まで。 (shift21info@gmail.com)

【NPO法人 C&S経営支援協会】

NPO理事長 松井利夫

「中小企業等経営強化法」が7月1日に施行されました

「中小企業等経営強化法」とは、生産性が低迷し人材確保や事業の継続的發展に懸念がある中小企業・小規模事業者等の生産性の向上(経営力向上)を図るため、国が「事業分野別指針」を策定し、その指針に沿って中小企業・小規模事業者等が「経営力向上計画」を作成し国の認定を受ければ、税制や金融支援等の措置が受けられる法律です。

「経営力向上計画」とは、人材育成、コスト管理等のマネジメントの向上や、設備投資等により、事業者の生産性を向上させるための計画です。申請書はたった2枚で済みます。

固定資産税については、資本金1億円以下の会社等が160万円以上の機械及び装置(新品)を購入した場合、その設備が生産性を年平均1%以上向上する設備であれば、3年間で1/2の軽減措置を受けることができます。また、政策金融機関の低利融資、民間金融機関の融資に対する信用保証、債務保証等の資金調達に関する支援を受けることができます。事業分野には、製造、卸・小売り、外食・中食、医療、介護等があります。なお、計画申請するときには「経営革新等支援機関」のサポートを受けることができます。

この法律は、次のような理由から今後の中小企業に対する国家政策の根幹であり、中小企業と銀行の関係にも大きな変化を及ぼすものと思われます。

(1) 財務指標が変わる。

これまでの財務要件に加え「生産性」が重視され、経済産業省が指標として明記しているため、今後は金融機関もこれらの改善を重要な評価項目とする可能性が大である。

(2) 中小企業の救済判断が銀行から国に移るかもしれない。

これまでの「経営改善計画」に替わり「経営力向上計画」を作成し、事業別分野の所管大臣が承認・認定します。国が「どんな企業に生き残って欲しいのか」を明示することから、企業はそれに向かってチャレンジすることになります。

なお、「経営力向上計画認定申請書」の入手方法は次の通りです。様式は以下のURLからダウンロードできます。 <http://www.chusho.meti.go.jp/keiri/kyoka/>

【追記】平成27年度補正「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」2次公募が7月8日(金)～8月24日(水)まで行われています。

【相談及び問合せ先】 E-mail : toshio_matsui@mve.biglobe.ne.jp

又は携帯 : 090-9130-0119 理事長 松井利夫

【 川 崎 異 業 種 研 究 会 】

川 崎 市 商 工 会 議 所 桂 千 香

< 平 成 2 8 年 度 川 崎 異 業 種 研 究 会 通 常 総 会 開 催 >

5 月 1 1 日 (水) 川 崎 商 工 会 議 所 に て、会 員 2 2 名 の 参 加 を 得 て 開 催 し た。

菅 原 会 長 か ら 平 成 2 8 年 度 事 業 方 針 と し て 「 川 崎 異 業 種 研 究 会 の 躍 進 と 国 際 化 (3 0 周 年 へ) 」 が 示 さ れ、事 業 内 容 と し て 以 下 の 3 つ の 骨 子 が 述 べ ら れ た。(1) 会 員 交 流 事 業 の 促 進 (定 例 会、分 科 会、国 外 視 察 会)

(2) 会 員 増 強 活 動 の 促 進 (3) 企 業 間 連 携 ・ 産 学 官 連 携 事 業 へ の 促 進

ま た、以 下 の 議 案 が 満 場 一 致 で 承 認 さ れ た。

(1) 平 成 2 7 年 度 事 業 報 告 お よ び 収 支 決 算 承 認 の 件

(2) 平 成 2 8 年 度 事 業 計 画 (案) お よ び 収 支 予 算 (案) 承 認 の 件

(3) 役 員 改 選 の 件

続 いて、講 演 会 を 開 催、3 5 名 の 参 加 を 得 た。講 師 に、元 NHK 記 者 ・ 現 NHK 国 際 放 送 局 ア ナ ウ ン サ ー 山 本 ミ ッ シ ュ ー ル 氏 を 招 き、『日 本 全 国 の 「 匠 」 の 取 材 を 通 じ て 描 出 す る、世 界 が い ま 求 め る 日 本 の モ ノ づ く り』を テ ー マ に 講 演 が 行 わ れ た。講 師 自 ら が、日 本 全 国 を 取 材 し、日 本 の 技 術 力 を 支 え る 中 小 企 業 の 「 匠 」 の 技 を、世 界 に 向 け て 発 信 す る 様 子 を 紹 介 し た。同 時 に 世 界 に 誇 る 日 本 の 技 量 の 素 晴 ら し さ も 語 ら れ た。ま た、コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 指 導 で も 活 躍 中 の 講 師 よ り、リ ス ニ ン グ、コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 力 の ワ ン ポ イ ン ト レ ッ ス ン も あ り、参 加 者 は 熱 心 に 耳 を 傾 け た。

総 会、講 演 会 終 了 後 は、懇 親 会 を 開 催 し た。菅 原 会 長 の 挨拶、川 崎 商 工 会 議 所 山 田 会 頭 の 来 賓 挨拶、来 賓 紹 介 の 後、神 奈 川 県 異 業 種 連 携 協 議 会 金 究 議 長 の 乾 杯 発 声 に よ り 開 宴、終 始 和 や か に 親 睦 を 深 め、原 顧 問 の 中 締 で、盛 会 裏 の うち 散 会 と な っ た。



講 演 会 の 講 師 山 本 ミ ッ シ ュ ー ル 氏



総 会 風 景



	神奈川県新産学公交流 第 72 回 サロン横浜	西湘サロン 第 64 回	海老名サロン 第 35 回	三浦半島経済人サロン 第 71 回
日程	07 月 20 日 (水) 18:00～20:30	09 月 13 日 (火) 18:00～20:00 開場は 17:30～	08 月 23 日 (火) 15:00～	07 月 20 日 (水) 18:00～ 開場は 17:30～
場所	横浜市中区尾上町 1-6 横浜関内ビル B1	日本生命小田原ビル 4 階会議室 小田原市本町 1-4-5	神奈川県産業技術セン ター 2F 講義室 6 海老名市下今泉 705-1	神奈川新聞社 横須賀 支社 5 階会議室 横須賀市小川町 21-9
連絡先	(織方、篠原、坂本、 杉本)	イグレン (吉池)	愛 賢司	堀込、芝、鶴野、西澤
内 容	暑気払い・懇親会 「紅花」現地集合 <中華料理> 参加費：3,500 円程度	絵本は哲学書 ～絵本か ら生き方を学ぼう～ 株式会社 Cube-up 代表取 締役社長 内田由美 氏 参加費:1,000 円	「家族経営からの脱却」 ニイガタ株式会社 代表取締役 渡辺 学 氏 会費：2,000 円	「TR i A S 社の戦略」 (横須賀市二葉) 栗田篤社長 参加費：1,000 円

尾上町サロン・・・毎月 1 回、第一金曜日に開催。次回 08 月 05 日 17:15～19:30 参加費 1000 円
ざっくばらんに語り合う場 会場：中小企業センター703 イグレン事務局

7 月になりました。不安定な局地的豪雨がこのところみられます。先日も豪雨のあとスーパーに立ち寄るとエレベータ部分が水浸し状態に……。今までに無いことです。不安定な状況は気象だけに留まらず、世界経済においても同じような状況です。ゼロ金利政策により実質金利が低下、企業の設備投資や住宅購入などに対しては恩恵を受けやすい状況ですが中小企業が設備投資をどんどん進めるといふ環境にはありません。世界経済が順調にまわれば海外と国内のスプレッド(金利差)により自国通貨が安くなる傾向にあるため緩やかな円安を想定していた所、ユーロの問題で逆に円高へ……。なかなか思うようにはいきませんね。
これから暑い夏がやってきます。御身体ご自愛くださいませ。



「神奈川イグレンニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながる「役立ち情報誌」です。こんなことが新たなビジネスにつながった。とか、思いもしなかった出会いでこんな事になりました……。など原稿を募集中です。

伺える範囲であれば取材にも参ります。尚、自薦・他薦は問いませんのでご連絡頂ければと思います。

神奈川イグレンへの連絡問合せは、Tel: 045-228-7331 Fax: 045-228-7331 (TEL 兼用)

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masa247307-sowa@dream.bbexcite.jp

神奈川県異業種連携協議会 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】①②③宮川 豊④⑤荒 直孝【火】①②④⑤児玉 英二③愛賢司 【水】①菊地②指方③加藤④愛⑤芝

【木】①②③④⑤ 松井 利夫【金】①愛賢司②指方 順一郎③④⑤織方 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7 階インキュベートルーム 703 号
神奈川イグレン事務局

T/F 045-228-7331 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: iguren@kanagawa-iguren.com